

2023.2.15

SaloneSatellite /サローネサテリテ 2023**教育の役割、デザインの未来、光の重要性について考察**

16 カ国からデザイン学校と大学が 27 校、34 カ国から 550 人の若き才能あるデザイナーたちが、光へのオマージュを込めた舞台上で、学問の準備をテーマに、デザインがいかに未来を形作ることができるかを問いかけ、見本市を盛り上げます。ゲストにガエタノ・ペッジェ氏を迎え、国際的なデザイン界の若手ホープたちを刺激し、活力を与えることを期待しています。

4 月 18 日から 23 日まで、Salone del Mobile.Milano /ミラノサローネ国際家具見本市(以下、ミラノサローネ)の 13-15 ホールで、Marva Griffin/マルヴァ・グリフィンが 1998 年に創立し、35 歳以下のデザイナーに展示スペースとビジネスチャンスを与えるためにキュレーションしている第24回サローネサテリテも開幕します。今年は**デザイン学校と大学**に焦点を当て、未来のデザイナーの育成とデザインの発展に、これからも計り知れない貢献をしていきます。

サローネサテリテが創設した頃から、デザインに特化した新しい学校やコースが次々に誕生し、支持されてきました。そのため、第 1 回目の開催から、ミラノサローネでは彼らにスペースを割き、可視性を高めています。それぞれの教育方針の特徴を生かしながら、世代を超えてデザイン適性を刷り込み、個々の声を引き出していく様子を目の当たりにしてきました。

【デザイン学校・大学 / (IM)POSSIBLE を組み立てるプロセス、進歩、実践】

これが今回のテーマです。特に、デザイン学校・大学は、卒業生となる学生の**展示デザイン**や発表作品を通じて、「**Design:DOVE VAI? (WHERE ARE YOU GOING?)**」という問いかけに答えることが求められています。各教育機関の貢献によって、**理想的なデザインビジョンの全体像**を描くことができ、そこから、私たちを待ち受ける次の課題を知ることができます。そして、その課題をデザインとその教育の観点からどのように解決できるかを学ぶことができます。環境、経済、社会のバランスが大きく変化する時代において、学生や新進デザイナーに、これからのイノベーションの意味を指し示してくれる貴重な指標となることでしょう。

【建築家 Ricardo Bello Dias /リカルド・ベッロ・ディアスによるレイアウト】

この教育プロセスとデザイナーのデザイン開発との密接な関係を視覚化するため、**16 カ国 27 校のブース**が会場の外周に沿って、**34 カ国約 550 人の出展デザイナー**を取り囲むように展示されます。**リカルド・ベッロ・ディアス**によるレイアウトは、同じ**13-15 ホール**内で開催される**エウロルーチェ**からインスピレーションを得たものです。このように、自然光とそれが意味するもの、つまり人生と学習プロセスのメタファーが、35 歳以下の空間のライトモチーフとなるのです。



【特別展示「Sate-Light」】

サローネサテリテ・アワードのエリアは、太陽と月の存在が際立ち、イベント全体の美学を際立たせる要素となっています。2つの広場に望遠鏡を設置し、デザインの現在と未来を映し出す架空の空を鑑賞できる特別なインスタレーションを行います。光と影の戯れ、夜明けから夕暮れまでの光の色の変化から、インスタレーション全体の舞台装置とグラフィックが形作られます。サローネサテリテは、エウロルーチェに敬意を表し、特別展示「Sate-Light」を開催します。2つのエリアの境界に象徴的に設置され、光のプロジェクションで示された境界には、長年にわたってサローネサテリテに参加したデザイナーがデザインし製品化された照明が展示されます。将来を担う若者に賭けた企業とのコラボレーションにより生まれた作品群です。サローネサテリテで生まれ、成功を収めたこれらのパートナーシップは、クリエイティブとビジネスの出会いを促進するという本展示会の主な目的を明確に示しています。

【第12回 SaloneSatellite Award/サローネサテリテ・アワード】

最もふさわしい3つのプロジェクトに賞が与えられます(Honourable Mentions/特別賞も2つまで授与可能です)。候補となったプロトタイプは、例年通りサローネサテリテ会場に展示され、第1回目から審査委員長を務めるMoMA近代美術館の建築・デザイン部門のシニアキュレーター兼研究開発ディレクターであるパオラ・アントネッリ氏率いる国際審査員団によって評価されます。

【ガエタノ・ペッシェ講演】

イタリアの彫刻家、デザイナー、建築家であり、長年ニューヨークを拠点に活動してきたマエストロ、ガエタノ・ペッシェがサローネサテリテアのリーナに招かれ、彼の長いキャリアとデザイン界への貢献について語る講演には大きな期待が寄せられています。

4月18日から23日まで、サローネサテリテへの入場は無料で、Cargo 4から直接アクセスできます。また、Salone del Mobile.Milano /ミラノサローネの入場券を購入された方は、エウロルーチェからアクセスすることができます。

プレスお問い合わせ先: 山本幸 yuki@milanosalone.com

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti press@salonemilano.it